

物理ホスト アップグレード チェックリ スト バージョン10.6.6.xから11.2



タ ス ク	説明	✓
-------------	----	---

アップグレードの準備

1.	RSA LinkからRSANW-11.2-PhysUpgradeGde.pdfをダウンロードし、内容を確認します。	
2.	「ESA(Event Stream Analysis) のアップグレードに関する考慮事項」および「混在モードでの調査」のセクションをよく読んでください。	
3.	11.2でサポートされないハードウェア、導入形態、サービス、機能を確認します。	
4.	使用する機能のアップグレード準備タスクを実行します。 <div data-bbox="161 821 1437 905" style="border: 1px solid yellow; padding: 5px;">注意: ポートが使用できないことが原因でアップグレードが失敗しないよう、新しいポートを構成し、テストします。</div>	
5.	バックアップのtarファイルを保存するためのCentOS 6外部ホストを作成します。	
6.	RSA Link(https://community.rsa.com/docs/DOC-81514) からnw-backup-v4.0.zip(またはそれより新しい) ファイルをダウンロードし、外部ホストに保存します。	
7.	外部ホストからget-all-systems.shおよびssh-propagate.shを実行します。	
8.	今後の参照のために、get-all-systems-masterファイルのコピーを保存します。	
9.	外部ホストからTESTモードでnw-backup.sh を実行して、必要なディスク容量を確認します(例 :nw-backup -t -l -D)。	
10.	ヘルプメニュー(nw-backup.sh -h) を表示して、nw-backup.shのバックアップ オプションを確認します。	

物理ホスト アップグレード チェックリ スト

バージョン11.6.6.xから11.2



タスク	説明	✓
フェーズ1: SA Server、ESA、Malware Analysis、Broker/Concentratorホストのアップグレード		
11.	SA、ESA、MA、およびBroker/Concentratorのバックアップ データが含まれるように、all-systemsの内容を更新します。	
12.	ESAホストの場合、特殊文字 が含まれている場合は、Mongoデータベース管理者パスワードを「netwitness」にリセットします。	
13.	フェーズ1のすべてのホストに対して-u フラグを設定してnw-backup.shを実行し、エラーなく完了したことを確認します。	
14.	ご使用の環境に複数のESAアプライアンスがある場合は、プライマリESA(Context Hub サービスを実行するESA)を指定し、セカンダリESAのmongodb.tar.gz.*ファイルをプライマリESAのデフォルトのバックアップ パスにコピーします。	
15.	ローカルおよびリモートにバックアップtarファイルが保存されたことを確認します。	
16.	SA Serverホストにメディア(ビルド スティックなどのISOファイルを含むメディア)を接続します。ISOの入手および準備の方法については、RSANW-11.x-BuildStickInstr.1.pdfを参照してください。 注意:「OEMDRV」というラベルのビルド スティックを使用する必要があります。	
17.	接続されたメディアから、ホスト上にベース イメージを作成します。	
18.	ホスト上でnwsetup-tuiプログラムを実行して、ホストを11.2にアップグレードします。	
19.	次のホストで、ステップ17、18、19を繰り返します。 a. ESAプライマリホスト(存在する場合はその他のESAホスト)。 b. Malware Analysisホスト。 c. BrokerまたはConcentratorホスト。	
20.	NetWitness 11.2ユーザ インタフェースを使用して、ESA、Malware Analysis、BrokerまたはConcentratorサービスをインストールします。	

物理ホスト アップグレード チェックリスト

バージョン11.6.6.xから11.2



タスク	説明	✓
フェーズ2: その他すべてのホストのアップグレード		
21.	フェーズ2のホストのバックアップ データが含まれるように、 <code>all-systems</code> の内容を更新します。	
22.	外部ホストからTESTモードで <code>nw-backup.sh</code> を実行して、必要なディスク容量を確認します (例: <code>nw-backup -t -l -D</code>)。	
23.	フェーズ2のすべてのホストに対して <code>-u</code> フラグを設定して <code>nw-backup.sh</code> を実行し、エラーなく完了したことを確認します。	
24.	ローカルおよびリモートにバックアップtarファイルが保存されたことを確認します。	
25.	各ホストで次の手順を実行します。 a. メディア(ビルド スティックまたはDVD ISO)をSA Serverホストに接続します。ISOの入手および準備の方法については、 RSANW-11.x-BuildStickInstr.pdf を参照してください。 b. 接続されたメディアから、ホスト上にベース イメージを作成します。 c. ホスト上で <code>nwsetup-tui</code> プログラムを実行して、10.6.6.xホストを11.2にアップグレードします。 d. NetWitness 11.2ユーザ インタフェースを使用して、ホスト サービスをインストールします。	
アップグレード後の調整の実行		
26.	使用する機能に応じたアップグレード後のタスクを実行します。	

改訂履歴

リビジョン	日付	説明	作成者
1.0	2018年8月17日	Release to Operations	IDD